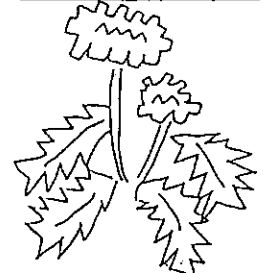


**たんぽぽ**

NO 1 4 1  
H11年 3月 1日  
— 発行 —  
〒869-1217  
熊本県菊池郡  
大津町森 54-2  
社会福祉法人  
三気の会  
**三気の里**  
☎096-293-8100



全国自閉症者施設協議会Ⅱ

園長 松田 健

前号に引き続き、故 田中稔施設長が全国自閉症者施設協議会で発表する予定だった原稿文を掲載します。

二月二十三日に施設長の追悼文集が完成しました。(ご存命ならば五十六回目の誕生日の日でした。)

編集委員であった私が怠惰な性格ゆえ、ご協力をいただいた方には大変ご迷惑をおかけしました。また、文集中の誤字・脱字はすべて編集委員の責任ですのでご容赦いただきますようお願い致します。

(前号からの続き)

☆ 施設職員関連について

認可福祉施設職員の処遇は、公務員に準ずる諸規定によって行われますが、これら時が過ぎていけば定期昇給し、ボーナスも出るという制度は職員を墮落させ、マシネリ化させ、腐らせていく元凶

です。当施設も昨年、一〇年近い勤務の職員を4名同時に辞めていただくことになりました。施設職員は高倫理性、向上性、向学性、が求められています。職員会議、療育会議、レポート、個人記録のチェック、限られた条件のなかで

これらを有効に働かせるシステムが必要です。

☆ 療育関連について

自閉症の歴史は、自称専門家による概念のふらつき、障害の細分化による不明瞭な診断名の乱発、その時その時の流行を追うような療育法、これらに親が振り回された裏面史を持っています。「心が通い合う療育」といった言葉は、「態度」ではあるが、「療育技法」ではありません。

日本で自閉症が語られ始めて四〇年になりますが、自閉症児に人の中で生きていく具体的な能力を引き出し、育てる具体的な技術、

システムを私たちはまだ持っていないと思っています。社会の中で暮らしたいと思っています。園生に答えられる技術が私たちに求められています。

☆ 保護者関連について

毎年保護者が亡くなっていくのを見送っています。中には一〇年間に両親が亡くなった子もいます。

「三気の里」は親亡き後という

ことを見据えて作りました。親の高齢化、老齢化が進んでいます。自閉症者が社会に帰る受け皿には、親はなれません。親は六〇歳を過ぎたら、親の定年を迎えさせてあげていいのではないのでしょうか。

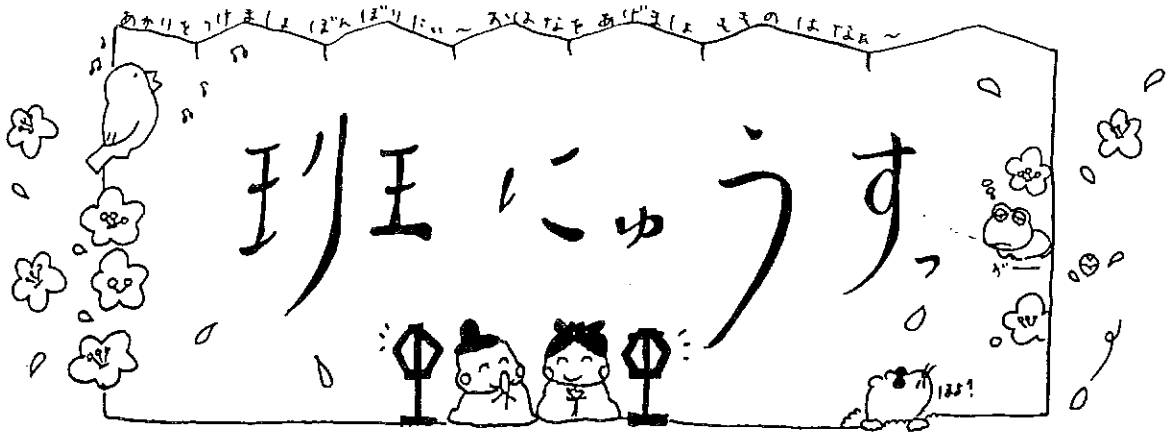
☆ 行政関連について

障害者基本法が出来ました時に、付帯決議として自閉症への配慮がなされています。行政の自閉症を始めたとする発達障害に対する理解と対応は、全く不十分なものです。施設運営のエネルギーの多くをそ

ういったことに割くことを余儀なくされている現状があります。後2年後、二十一世紀になると介護保険制度、措置制度の変更と福祉施設にとって大きな変化が目の前に迫って来ている。これらに対して、しっかりとした備えをしなければなりません。

施設運営について議論する時に、各施設の置かれている状況によって論点が異なります。ここに書きましたことは、今自分たちの施設でやらなくてはならないことが山ほどある実状です。施設側から見た観点で書いておりますが、入所者の側から見た観点もそれほど単純なものではないと思います。一施設の頑張りでどうにもならない状況も多くありますが、「三気の里」を拠点に4年前より乳幼児発達障害児早期通園施設「三気の家」を始め、「青年の家」も近々用意していきたいと思えます。こうした施設の整備と同時に、自分たちの技量を如何にして高め、具体的にしていかがが最も大切なことと思っています。





#### 4班・春に向かってジャンプ(?)

春の訪れを感じながら作業に取り組んでいる農耕班です。現在はほうれん草の収穫も終わり、いつもならば白菜とキャベツの収穫を迎える時期なのですが、今年はほとんど期待できそうにありません。葉っぱについている虫をカラスが食べにきて、葉っぱまで一緒につまんでいってしまうことと今年の気候が原因のようです。皆様にお届けすることができず残念です。次回にご期待下さい。

話は変わって、去る2月25日ポカポカ陽気の中レクリエーションに出掛けました。いつもは自然の中でのんびり過ごすことの多い農耕班のレクリエーションですが、今回は趣を変え荒尾市にある三井グリーンランドへ行ってきました。着いてすぐにきれいな芝生の広場で昼食をとり、その後3つのグループに分かれて行動しました。コーヒーカップ、トランポリン、幽霊屋敷等それぞれで色々なアトラクションをまわって楽しみました。中でもトランポリンは好評だったようで一裕くん・浩ちゃん・創くんはニコニコして跳びはねていました。でもやはり皆の一番の楽しみは食べることで、最後に食べたソフトクリームを食べている時の顔が一番輝いていました。

いよいよ今年度も残すところあと1カ月。来月が今年度最後のレクリエーション、最後は皆でパーッと盛り上がりましょうね！

石井

#### 1班・春はもうすぐ

暖かい日があったり、かと思えば雪の降るような寒い日があったりと安定しない気候が続きますが、町のあちこちには、梅の花が満開に咲き乱れているところもあり、少しずつそして確実に春が近づいていることを教えてくれます。このほかに、わたしは野球のオープン戦が始まると「ああ、いよいよ春が来たナー」と感じますが、皆さんは何を見たとき、聞いたときに春を感じますか？

1班は2月18日(金)にレクリエーションで食事会とカラオケに出かけました。いろいろと悩みましたが、今回は中華料理に決まり熊本市の『王家亭』に行くことになりました。コースで注文した中華料理は、ふだんお目にかかることのできないものばかりで、みんなも次々と運ばれてくる料理に悪戦苦闘しながらおいしそうに食べていました。食べ物に好き嫌いの多い、よっちゃんや建治郎くんもこのときはとても満足そうでした。

お昼からは大津町のコロッケ倶楽部というカラオケBOXに行き、歌を楽しみました。洋一君、しーちゃん、功一君、ゆかりちゃんが得意の歌を披露してくれると、まーくんや憲吾くんは歌に合わせて踊りを見せ、皆を楽しませてくれました。そのほかの人達も曲が始まると、笑顔が出たり、マイクに口を当てたりとそれぞれに自分をアピールできていた様です。

こうやって月に一度のレクリエーションを充実した皆はまた次のレクリエーションを楽しみに、明日への活力となるのです。

高田

### 3班・春よ来い

冬の間眠っていた体を起こすため、わたしたち木工班は2月9日クリスタルモール浜線へ、ボーリングに行きました。

寒いだろうと厚着をして出掛けたのですが、日差しはポカポカと暖かく、本当に春が来たようでした。クリスタルモールへ着くと、2つのグループに分かれ、さっそくお昼ご飯。一つのグループは、『焼き肉食べ放題』の看板を見つけるなり、ものすごい勢いで店内に入り、何度もおがわりをしてみました。もう一つのグループは、ファミリーレストランでグラタンやハンバーグなどを、これまたおいしくいただきました。

腹ごしらえをした後は、今日のメインのボーリング。今回は秘密兵器（小さい滑り台のような物で、力がない人でもボールに勢いがつきます。）の登場で、思いもよらぬハイスコアが出た人や、スベアを次々に取る人、力いっぱい投げる人など、皆でとっても楽しくスコアの競い合いとなりました。

さぁ、春は目の前です。こたつに潜っていないで、元気よく体を動かしましょう。 岩本

### 2班・祝 全員集合！

先月のレクリエーションは、残念ながら林田君が39度台の熱に苦しみ、村上君も風邪でダウン、私もインフルエンザで撃沈と3人も欠席してしまいました。さて今回はと言うと、正樹君が久しぶりのお母さん来園の為、『レクリエーションには行かん。』と言い張っていたので、また一人欠席と思いきやレクリエーション当日お母さんが帰られたので、どうにかこうにか全員参加のレクリエーションになりました。

場所は、長陽村のいちご園でしたが、みんないちごなら青いのも赤いのも口に入れ、食べ過ぎるかもしれないと職員は心配していましたが、まさに杞憂といった感じでした。みんな今が食べ頃のいちごをちゃんとセレクトして食べていたし、ある程度食べたなら、自分でベンチに戻りのんびりしていました。（島津君はベンチと間違えて、蜜蜂が入る木箱に座って、平然としていました。）お腹一杯の意味が少しずつ分かってきているような気がしました。その後は、近くの展望所に行きましたが、マイクロバスで昼寝などをしていた光山君、上田さん、明日香さん、ベンチに座り、ボーッとしていた泰彰君、村上君、佐藤君、ウロウロ歩き回っていた（変な動き？）岩下君、島津君、林田君、竹下君、枯れ葉集めをしていた坂田君、景色を楽しんでいた神沢さん、伊石さん、藤本さん、西澤さん、金森君みんなそれぞれの時間をのんびり過ごしていたようです。日光が気持ち良く、春がもう顔を見せだしているなーという天気でした。帰りのバスは、まさにお昼寝タイムでした。 榎本

### 5班・春、花いっぱい

暖かい日と寒い日が交互に続き、世間ではインフルエンザが流行っているようですが皆様、風邪などひかず元気にお過ごしでしょうか？

私たち園芸班は、去る2月23日四季の里旭志に行って来ました。園芸班に新しく1月から仲間入りした暁くんは、先月風邪で参加できなかったために今回が初レクとなりました。四季の里に着いてすぐ昼食となり、皆自分で選んだお弁当をすごく満足気に食べていました。その後は食べたものを消化するべく、それぞれに遊びました。トランポリンがすごくお気に入りだった泰ちゃん、滑り台を楽しんでいた武ちゃん、バトミントンが上手だった典くん、2人でのんびりと過ごしていた松島さん・富田さん、と思いきいに楽しんでいたようでした。その後は温泉にゆっくり浸かり、湯上がりの真っ赤な顔でアイスクリームを嬉しそうにほうばっていました。

これから春に向けて、種まきが忙しくなります。花一杯の三気の里になるように園芸班は一生懸命頑張っているのです、皆さん楽しみにしてくださいね！ 蘭牟田

新体制

木下 昭二

三気の里の歴史も、一年一年をコツコツと積み重ねて十二年が過ぎ、もうすぐ十三年目に入ろうとしています。お蔭様で自閉症者の人達に対しての指導方法や療育技法等の基本的なことについては、ある程度のレベルの力が身につく三気の里なりの確立されたものが出来つつあるということが言えるのですが、その般化の場の大きな一つの作業班の班分けについては、開所当初後の数年こそ安定していたものの、ここ数年は毎年のように移動や変更が行われ、保護者の方々には年度末を迎える毎に色々な不安やご心配をおかけしてきて申し訳なく思っています。と、お詫びしておきながら言いつらいのですが、今回（平成十一年度）も今までに実施したことのない、思い切った新班体制を全職員で話し合って実施することに決定しました。というのも、文頭で触れたように三気の里の歴史も十三年目に入ろうとしているということは、当然のことながら当時十代だった

人は二十代へ、二十代だった人は三十代へと平均年齢も上がり、どちらかというところ「頑張れ、頑張れ」一辺倒だった時代から、四十代の人には体力に合わせて、（当初は一人もいなかった）五十代の人には少しのんびり、二十代、三十代の人にもここでもう一度見直し、一人一人に合わせてペースを決めたり、ダイアモンドの原石を磨くが如く、基本に戻ってコツコツと始めたり、まだまだバリバリ頑張ってもらったりと、より多くのニーズに答えられるよう細分化した班編成になりました。その分、職員はこの班編成を実施するに当たっては一層の頑張りが必要です。

この案を、話し合うに当たっては職員間で色々な議論が交わされました。その論点の主な所は、端的に言うところ、園生を中心に考えた班作りか、それとも職員の動き易さを優先するかというものでした。どちらも園生のことを思うが故の議論でした。後者の意見にしても職員がいなければ、園生の動きは取れないからです。しかし、最終的にはこの案での実施に賛成してくれ先輩職員としてとても嬉しく

思いました。この案に賛成してくれたということは、一人一人の職員がより一層頑張るということも承認してくれたのも同然だからです。園生には「善かれ」と思って実施を決めたことでも、保護者の方々の中には不安に思われる方もいらっしゃるかも知れません。というのには、作業班の数が多くなればなるほど、ひと班の職員数は今よりも当然少なくなるからです。今でも、帰宅や帰園の際に「なかなか担当の先生とお会いできない」といった話を聞くことがあります

が、この点についてもスタートしてみないと分からないというのが正直な所です。その解決策というほどではありませんが、新年度からは開所当時に導入していた棟制を復活させようと思っています。今までは園内での生活と作業班も同じで、班単位の結び付きが非常にウエイトを置いていましたが、これからは生活棟と作業班を別々で見ることによって、より多くの職員が一人の園生にかかわることになり、また職員側から見ても今までと同じ班の園生を中心に見ることが多かったのに、これからは

班と棟の両方に意識を向け、延いては全体への意識レベルの向上に繋がっていくように期待しています。最近職員より、「引き継ぎにこられた先生に、「うちの子は最近どうですか？」と尋ねると「班が違うので良く分かりません」といったような内容の答えが返ってきて寂しかった。」と保護者の方が話しておられた、と聞きました。少なくともこの棟制を導入することによりそういったことが、なくなっていったくれるものと思っています。

新班体制導入直後は、職員側も不慣れなため、しばらくは保護者の方にも今以上にご迷惑をおかけすることがあるかも知れませんが、どうか暖かい目で見守ってください。うまく回っていくようになった時、このシステムの良さが分かっていただけよう努力していきたいと思えます。それ以外にも職員全体の資質の向上のため、ケース検討会議を増やしたり、色々な分野の勉強会を実施したりしていきたいと考えています。

そして文頭で触れた「ある程度のレベル」が、自信を持って、高

いレベルの”と言えるように私達が引っ張っていきたいと思います。(新班集体制については3月の保護者会で発表しますので、それまでお待ちください。)



渡邊 一弘

手作りカレンダー  
カレンダーは色々有りますが、我が家には光紀と2人で作った落書き帳に線引きし、切り取って張り合わせた横幅7寸、長さ1.5尺の物です。新聞の月例ホームメモのカレンダーを、模似した半年位先までの予定を書いた手作りのカレンダーです。月曜日から金曜日までは三気の学校と黒いマジックで、土曜日はお迎え日曜日は休みと赤いマジックペンで書いてあります。今は5月の連休までの日程が書いてあります。2月14日は植木市とバレンタインと書いてあるので、チョコレートを買いに、植木市に行かなければと思っていました。「土曜、日曜」の欄に、時にジャスコ、ダイエー、鶴屋、岩田屋「いちごみるく」「アーモンドポッキー」「ブリッツサラダ」と

書いてありますので、これは連れて行ってもらいたい算段と思えます。土曜日三気の学校から帰って来ると、自分の机の引き出しからカレンダーを出し、月曜日から金曜日までの曜日を鉄みで切り取り、まるで宝物みたいに嬉しそうに眺めています。

毎年、家族で植木市に行き、果物の木樹の苗や奇麗なお花も親ますが、光紀の本心は帰りに熊本駅に寄り「ひよ子万十」を買うのを楽しみにしているのかも知れません。又家に帰って皆んなで「ひよ子万十」を美味しく喰べるのも楽しみです。

三気の里にお世話になってこの4月で9年目に入りますが、少しずつ落ちついてきた様に思われます。それも三気の里の先生達の指導のお陰だと感謝して居ります。

保護者懇親会

南 和美



去る2月11日(木) 毎年恒例となっており、保護者懇親会が今年も行われました。

今年度は、故田中稔前施設長が亡くなられた年ではありましたが、これからの三気の里を皆が一致団結して支えてゆくという意味も込めて計画され、例年に増して多くの保護者の方が参加されました。私たち職員もお招き頂き、ありがとうございました。いつもはあまり話す機会のない、他の班の保護者の方々とも話す事ができ、大変よい機会だったと感謝致しております。懇親会の最後には、故田中稔前施設長がよく歌われた「酒よ」を皆で熱唱し、これから皆でがんばって行く決意を新たにお開きとなりました。

最後となりましたが、今回の幹事に当たられた保護者の方々、大変お疲れ様でした。

熊本県知的障害者施設職員体育実技研修会

山口 裕之



去る2月19日(金) 熊本県立総合体育館にて、熊本県知的障害者施設職員体育実技研修会が行われました。今回はペタンクとふらばーるボールバレーの2種目が行われ、三気の里からはふらばーるボ

ールバレーに参加しました。初めてする競技で戸惑いながらも一生懸命練習しましたが、その甲斐もなく惜しくも予選で敗退しました。しかし、この新しい競技を知ったことで今後、三気の里の皆と一緒に楽しめればと思います。

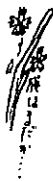


栄養の話

「キンカン」

ビタミンC源として貴重で、5〜6個でほぼ一日の必要量が満たせます。ビタミンEも多く、老化防止にも最適です。カルシウムも生の果物では最も多く含まれています。外皮には、果肉よりさらに多くのビタミンCが含まれているので、生か甘煮、キンカン酒、マーマレード等にして丸ごと食べるのをおすすめします。さらにキンカンには渴きを止めてのどを潤す作用があり、特に甘煮はのどの痛みや咳、たんを伴う風邪に効果があります。また、胃や肝臓の働きを正常に整える働きもあります。是非お試し下さい。

前田



3月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
	1	2	3 竹ひな祭り 希久男君の誕生日(31) 信ちゃんの誕生日(28)	4	5	6	
7	8	9	10 中原くんの誕生日(25)	11 器 1煎レク 宜隆さんの誕生日(54)	12	13 興 保護者会	
14	15 器 3煎レク	16 器 2煎レク	17	18 誕生日会 器 4煎レク	19 / たんぽぽ福集日	20 麻衣さんの誕生日(19)	
21	22 さゆりちゃんの誕生日 (27)	23 器 5煎レク 友くんの誕生日(24)	24	25	26 器 帰宅バス 器 選考訓練	27	
28	器 希久くん・信ちゃん・中原くん・宜隆さん・麻衣ちゃん・さゆりちゃん・延くんお誕生日おめでとう! 竹 3日(水)ひな祭り 興 13日(土)保護者会 器 18日(木)誕生日会 / 19日(金)たんぽぽ福集日 器 26日(金)帰宅バス 興 26日(金)-27日(土)職員研修 器 26日(金)選考訓練 器 11日(木)1煎レク・16日(火)2煎レク・15日(月)3煎レク・18日(木)4煎レク・23日(火)5煎レク						



ボランティア通信

暦の上では、とうの昔に春を迎えたというのに、春と呼ぶには少し寒さが厳しいように感じるのは、私だけでしょうか?

今年度もいよいよ残り少なくなりました。一年間、多くの行事にたくさんのボランティアの方々に参加し、協力して下さった事を心より感謝します。新年度も、季節を通して楽しい行事を計画していきますので、興味のある方は是非お気軽にご連絡ください。 麻生

〈ボランティアありがとうございます〉  
 ☆散髪 畑田美智子  
 ☆ブラッシング指導 前淵 隆子  
 ☆生け花 西村 栄子  
 ※敬称略



食堂営業中

この数カ月、世間の人々を悩ませていたインフルエンザ。風邪も好みの異性のタイプの様に、あっさりとは良いが、しつこいのは厄介。この余液を三気の里も多少受けてしまい、厨房では毎日のように軟

食を作る時期もありました。一日で軟食から脱出成功を果たせた園生もいれば、数日の脱出妨害を受けていた園生も。しかし、三気の里に救世主でも舞い降りたのか? 園生・職員の中に隠れ救世主がいたのか? 風邪の流行はくい止められたのです。でも、油断禁物というところで、嫌いな食べ物も残飯バケツに入れないで自分の中に入れてしまおう。



矢野

後援会募集のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぽぽ」をお送り致します。  
 振振り込み先  
 口座番号

0197018114902  
 社会福祉法人 三気の会後援会  
 住所

熊本県菊池郡大津町森54-12  
 一口 3千円  
 (後援会ありがとうございます)  
 米村 玲子・勇 健三

※敬称略